

# 泉つりん



阿賀野市立笹岡小学校  
平成28年2月9日  
No.10  
ホームページ <http://sasaoka-es.agano.ed.jp/>

## 笹岡で働くプロフェッショナルからの学び(6年生の取組)

校長 佐藤 寿樹

6年生は、総合的な学習でキャリア教育と関連づけ「働くこと」について学習し、先月30日に発表会を行いました。発表内容は、児童の住む笹岡地区で、こだわりをもって働く3人のプロフェッショナルから、お話を聞いたり、職場体験などの学習を行ったりして、分かったことや働くことの意味について考えたことなどです。

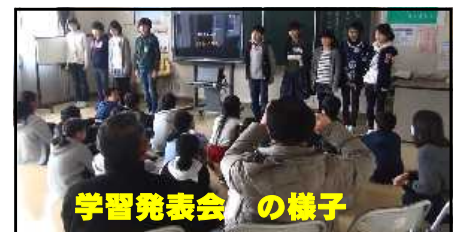


以下、3人の紹介です。①米作り農家の石塚 美津夫さん。石塚さんは JA 勤務時代に笹神村に有機農業を普及させた立役者で、「お米の価値を高め、笹神から全国の農家を変えたい」という夢を語ってくれました。

②150年以上続く醤油醸造元 コトヨ醤油 部長 小林 丈将さん。小林さんは、手作りの味を守り続けることが、コトヨ醤油の伝統を守ることであり、ふるさと笹神の味を守り続けることと語ってくれました。

③100年以上続く老舗 村杉温泉あらせい旅館の荒木 清隆さん。温泉ソムリエの荒木さんは、病気を治す湯治旅館としてのとことん相手を思いやる心、先祖代々守り継がれているラジウム温泉について語ってくれました。

30日の発表では、児童が、プロフェッショナルの仕事へのこだわりや情熱を、まるで自分のことのように堂々と発表する様子を見て、学習の深まりを感じました。4ヶ月にわたる学習から、児童は次のような発見や気づきがありました。



「仕事はお金を稼ぐためとしか考えていなかったが、仕事は人のため、社会に役立つためという大切な意味があることが分かった。」「失敗してもあきらめずに、どうして失敗したのか考えて、成功に結びつけていこうという姿勢が大切であることを学んだ。」「新しいことにチャレンジしていくことも大切だが、代々続く伝統を守り続けていくことにも価値があることに気付いた。」「相手のことを考え、思いやり、そのためには自分が何ができるかを考え、実行していくことが大切であることを教えてもらった。」

6年生を含めた各学年の郷土に関わる学習では、大勢の方々が笹岡小学校の児童のために力を貸してくださったことに感謝いたします。また、笹岡小学校の児童が、自分の住む笹岡地区、阿賀野市が大好きで、自分の故郷に愛着と誇りをより一層もつように取り組んでいきたいと思いをします。